

鶴見大学 10 年後に向けた国際化ビジョン 「Globalizing Tsurumi in Next Decade」

鶴見大学・鶴見短期大学部（学長：伊藤克子）は 2024 年の創立 100 周年に向けた中期 10 ヶ年計画として以下の 5 つの国際化ビジョンを策定しました。

本学の建学の精神「大覚円成 報恩行持 だいがくえんじょう ほうおんぎょうじ：感謝のこころ育んで いのち輝くひととなる」を基盤とした総持学園の教育目標で育った学生がグローバルな知的職業人として活躍できること、横浜の地にある本学が世界各地から学生や教職員の集まる国際的に開かれた大学・短期大学となることを目指しています。

1. グローバルな学園コミュニティ

- ・外国人留学生数を増やす<数値目標：学生総数の 10%>
- ・外国籍の専任教員数を増やす<数値目標：専任教員総数の 10%>
- ・外国籍の専任職員数を増やす<数値目標：専任職員数総数の 10%>
- ・国際学生寮に入居する外国人留学生数を増やす<数値目標：寮生総数の 50%>
- ・英語による学位授与コース開設<数値目標：コース数 1 >

上記目標達成のため、学事歴の工夫をはじめ教職員の国際化対応力向上を目指す。また、国際寮における共同生活によって交流に深みを増す。

2. 学生の留学・海外派遣

- ・カリキュラムに基づく学生の海外経験率を高める<数値目標：学生総数の 30%>

上記目標達成のため、長期留学・短期留学・国際協力（ボランティア）・海外実習（インターンシップ）など幅広い分野を視野においたカリキュラム改革を実施する。また、奨学金制度や留学・派遣前後の支援体制を充実する。

3. 外国語教育の充実

- ・英語による授業科目数を増やす<数値目標：授業科目総数の 30%>
- ・英語力基準（TOEIC 740 点(英検準 1 級相当)以上）を満たす専任職員数を増やす
<数値目標：専任職員数総数の 10%>
- ・外部試験（TOEFL または IELTS）による評価を組み込んだ英語教育を実施する
<数値目標：外部試験点数を保持する学生の割合 50%>

上記目標達成のため、英語外部試験を活用した入試改革に裏付けされた英語教育カリキュラムを組む。

4. 海外ネットワークの拡充

- ・交流協定大学数を増やす<数値目標：協定大学数 30 大学>

ネットワークの充実により学生・教職員のモビリティを高める。

5. 難民支援・医療・生涯教育・仏教文化を通じた地域住民へのグローバル化貢献

- ・歯学部附属病院の来院外国籍者数を増やす<数値目標：国籍数 80>

地域に在住する外国籍住民への日本語・日本文化教育や医療の提供機会を増やすことによって、学園を地域住民交流の場とする。